令和7年度 事務事業評価シート（1）

[令和6年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	広聴活動事業			事業番号	001-005
担当部署名	市長公室	局	広報戦略	部	市政情報課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性			
		寄与するKPI	有・無	指標名			
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	目標値	—	目標値	—
			無	取組			
		寄与するKPI	有・無	指標名			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						
3	事業開始年度		昭和 38 年度		点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 堺市市政への提案箱制度要綱、堺市パブリックコメント制度要綱、堺市市政モニター設置要綱						

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、各区、出先機関		
6	事業の対象	市民ほか市政に関する意見を持つ者	対象数	単位
			-	-
7	事業の目的	広聴活動の充実により、市民ニーズを的確に把握し、市民の声を市政へ反映させ、市と市民との信頼関係を構築する。また、市民の市政参加を促し、協働社会の実現をめざす。		
8	事業内容	<p>市政への提案箱や要望書等により、寄せられた市民ニーズを「市民の声」共有システムにて、データベース化することにより把握する。また、市政モニター制度、パブリックコメント制度などで寄せられた意見についても関係所管課と情報共有し、迅速・丁寧に対応を行い、市政運営の参考に活用する。</p> <p>広聴業務にかかる職員（広報広聴委員、主任、副主任等）への研修を実施し、職員の対応力向上を行う。</p>		
	※国・府の基準より上回って実施した内容			
9	主な支出先	(株) ワイイーシーソリューションズ、(株) マーケティングセンター		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度	
	堺市ホームページ「市民の声Q&A」に記載の市の考え方に対する理解	%	目標値	90	90	90	90
			実績値	80	79.5		
		達成率	89%	88%			
	当該指標を選定した理由	市民の声に対する市の考え方を適切に市民へ情報発信できているか測定するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	各年市政モニターアンケートでの「市民の声Q&Aに記載の市の考え方に対する理解」の設問への回答のうち「よく理解できた」及び「理解できた」の割合を合算し、90%以上の方から理解を得ることを目標としている。					
12	活動指標	単位	実績		目標		
			令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	広聴業務にかかる市職員への研修・周知	回	目標値	5	5	5	
			実績値	5	5		
		達成率	100%	100%			
	当該指標を選定した理由	本市へ寄せられる市民等からの意見、提案、要望、苦情について、所管職員の適切な対応が行われるよう研修等を行っているため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	市職員への研修等の回数					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	広聴活動事業	事業番号	001-005
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	3,863	3,714	7,600	5,624	4,630
13 財源内訳	国支出金	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他 ()	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0
	一般財源	3,863	3,714	7,600	5,624
14 人件費 (b)	27,100	26,900	26,800	26,800	28,200
15 年間経費 (c)=(a)+(b)	30,963	30,614	34,400	32,424	32,830

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R6	決算		
16 事業費内訳	旅費	R6	47	47		R6	47	47
		R7	0	0		R7	0	0
	消耗品費	R6	60	60		R6	60	60
		R7	0	0		R7	0	0
	委託料	R6	5,517	5,517		R6	5,517	5,517
		R7	4,599	4,599		R7	4,599	4,599
建物借上料	R6	0	0		R6	0	0	
	R7	31	31		R7	31	31	
	R6				R6			
	R7				R7			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和5年度	令和6年度
		令和5年度	令和6年度
① 市政の提案箱への提案数	件	1,220	1,142
② 上記①にかかる年間経費	千円	13,030	12,774
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	10,680	11,186

算出についての説明等 「市民の声」共有システムの管理運営費用、人件費

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員への研修・周知を行い、「市民の声」の市政への反映と市の考え方の理解促進に務めた結果、活動指標の目標値を達成できている。 ・委託事業者変更により年間経費が減少し、市政への提案箱提案数が年間1,142件と令和5年度を下回ったため、単位当たり経費は微増したが、「市民の声」の受付から所管課への対応依頼、市民の声Q&A公開における一連処理を概ね一定額の年間経費で維持できている。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<ul style="list-style-type: none"> ・市政への提案箱では、1,142件の提案が寄せられ、各所管課へ対応依頼を行った。市政モニター制度 年間2回 15項目のアンケートを実施。パブリックコメントを14件実施。広報広聴委員、主任、副主任等へ広聴にかかる研修を5回実施し、職員の対応力向上及び所管局部課間での対応の平準化を図った。 ・本事業は、市民ニーズを把握し、市政に反映する有効な手段であることから、提案された意見に対する市の考え方を適切に発信することにより市民の理解を得る必要がある。市政モニターアンケートの結果では理解度は80%であり、文章等の表現を丁寧にする必要がある。
----	---